



スズキ株式会社

第 155 期

中間報告書

2020年4月1日から
2020年9月30日まで



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第155期の中間報告書をお手許にお届けするにあたりまして、ご挨拶を申しあげます。

当社は2020年3月に創立100周年を迎えることができました。この100年、スズキは織機、二輪車、四輪車、船外機と多くの挑戦をしてきました。これらの挑戦があったからこそ、今のスズキがあります。株主の皆様、お客様、お取引先様、従業員、当社のあらゆるステークホルダーの皆様へ感謝、まさに「感謝。感謝。感謝の100年」でした。

次に、当社グループを取り巻く経営環境につきましてご説明いたします。当第2四半期連結累計期間(4～9月)におきましては、新型コロナウイルス感染拡大により世界的に景気は減速し、依然として当社グループの業績にも影響を及ぼしています。特に第1四半期連結会計期間(4～6月)におきましては、各国政府による行動制限措置の実施などに伴い、国内外の拠点において、従業員の出社規制およびサプライチェーンにおける部品の供給遅延などによる生産停止、減産、および販売停止といった影響が発生しました。続く当第2四半期連結会計期間(7～9月)におきましては、当社主力市場の日本およびインドでのロックダウン解除に伴い、生産・販売活動の正常化が進みました。ただし、インドでは感染収束の見通しが不透明なことに加え、日本を含めこれから冬季を迎える北半

球を中心とした地域での第2波の懸念もあり、引き続き注視が必要な状況が続く見通しです。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、第1四半期連結会計期間の減収減益を当第2四半期連結会計期間のインド、日本での販売回復や経費削減努力等でカバーできず、連結売上高は1兆2,702億円と前年同期に比べ4,852億円(27.6%)減少、営業利益は749億円と前年同期に比べ437億円(36.8%)減少しました。経常利益は962億円と前年同期に比べ433億円(31.1%)減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は543億円と前年同期に比べ250億円(31.5%)減少しました。

中間配当につきましては、1株につき前期と同額の37円とさせていただきます。年間配当予想につきましては、今後の状況を見極めるため、引き続き未定とさせていただきます。

今後とも長期的な展望に基づいて価値ある製品づくりとサービスの提供、企業価値の向上に努め、次の100年に向けてさらなる挑戦を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2020年11月

代表取締役社長 鈴木 俊宏

株式

(2020年9月30日現在)

- 株式の総数
発行可能株式総数 1,500,000,000株
発行済株式の総数 491,098,300株
- 単元株式数 100株
- 株 主 数 30,233名

大株主

株 主 名	持 株 数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	51,697	10.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	25,452	5.2
トヨタ自動車株式会社	24,000	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	17,961	3.7
株式会社三菱UFJ銀行	16,000	3.3
株式会社りそな銀行	13,000	2.7
株式会社静岡銀行	12,100	2.5
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	11,403	2.3
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140042	8,942	1.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	8,266	1.7

(注) 持株比率は、当社保有の自己株式を除いて算出しております。

会社の概要

(2020年9月30日現在)

- 社 名 スズキ株式会社
- 英文社名 SUZUKI MOTOR CORPORATION
- 本 社 静岡県浜松市南区高塚町300番地
- 設 立 1920年3月
- 資 本 金 138,262,634,261円
- 決 算 期 3月31日
- 従 業 員 数 連 結 69,785名
(就業人員数) 単 独 16,327名

役員

(2020年10月1日現在)

代表取締役会長 (取締役会議長)	鈴木 修	常 勤 監 査 役	杉本豊和	副 社 長	鮎川堅一	常務役員	内田 聡
代表取締役副会長	原山保人	常 勤 監 査 役	笠井公人	専務役員	青山市三	常務役員	鳥居重利
代表取締役社長	鈴木俊宏	監 査 役	田中範雄	常務役員	豊田泰輔	常務役員	藤崎雅之
代表取締役技監	鈴木俊宏	監 査 役	荒木信幸	常務役員	浅井慶一	常務役員	赤間俊一
取締役常務役員	本田 治	監 査 役	長野哲久	常務役員	山口和樹	常務役員	菊川 豊
取締役常務役員	長尾正彦			常務役員	齊藤欽司	常務役員	生熊昌広
取 締 役	鈴木敏明			常務役員	宮本敬司	常務役員	高柴久則
取 締 役	川村 修			常務役員	今泉伸一	常務役員	鈴木正倫
取 締 役	堂道秀明			常務役員	鈴木直樹	常務役員	竹内寿志
取 締 役	加藤百合子			常務役員	堀 算伸	常務役員	山下幸宏
				常務役員	加藤勝弘	常務役員	豊福健一朗
				常務役員	山岸重雄	常務役員	石井直己
				常務役員	大澤康治		

(注) 1. 取締役のうち、川村修、堂道秀明及び加藤百合子の三氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。
2. 監査役のうち、田中範雄、荒木信幸及び長野哲久の三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日現在)	前連結会計年度 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,903,099	1,539,722
現金及び預金	917,707	485,808
受取手形及び売掛金	417,928	427,358
有価証券	111,591	118,584
商品及び製品	222,880	245,409
仕掛品	42,971	47,420
原材料及び貯蔵品	62,711	62,662
その他の	130,224	155,349
貸倒引当金	△ 2,915	△ 2,871
固定資産	1,852,481	1,800,060
有形固定資産	939,726	920,144
無形固定資産	1,640	1,604
投資その他の資産	911,114	878,312
投資有価証券	699,339	662,194
その他の	212,390	216,713
貸倒引当金	△ 393	△ 445
投資損失引当金	△ 221	△ 150
資産合計	3,755,581	3,339,783
負債の部		
流動負債	1,516,557	1,225,506
買掛金	288,078	257,996
電子記録債務	68,642	71,869
短期借入金	507,004	195,598
1年内償還予定の新株予約権付社債	2,971	2,972
未払法人税等	28,460	22,310
製品保証引当金	205,807	243,920
その他の	415,592	430,838
固定負債	395,985	320,619
新株予約権付社債	8,560	8,560
長期借入金	274,280	197,064
その他の引当金	16,887	15,898
退職給付に係る負債	60,574	67,206
その他の	35,682	31,889
負債合計	1,912,542	1,546,126
純資産の部		
株主資本	1,706,312	1,677,583
資本金	138,262	138,202
資本剰余金	144,133	146,490
利益剰余金	1,445,692	1,414,665
自己株式	△ 21,775	△ 21,775
その他の包括利益累計額	△ 164,483	△ 190,032
その他有価証券評価差額金	104,439	87,455
繰延ヘッジ損益	△ 413	△ 269
為替換算調整勘定	△ 247,385	△ 255,266
退職給付に係る調整累計額	△ 21,125	△ 21,951
新株予約権	115	115
非支配株主持分	301,095	305,990
純資産合計	1,843,039	1,793,657
負債純資産合計	3,755,581	3,339,783

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	1,270,247	1,755,446
売上原価	898,129	1,251,558
売上総利益	372,117	503,888
販売費及び一般管理費	297,216	385,282
営業利益	74,901	118,606
営業外収益	28,544	29,329
受取利息	18,625	19,735
受取配当金	2,216	1,931
為替差益	496	-
持分法による投資利益	2,523	2,898
その他の	4,682	4,764
営業外費用	7,276	8,448
支払利息	2,333	2,424
為替差損	-	4,011
その他の	4,943	2,013
経常利益	96,169	139,487
特別利益	335	523
固定資産売却益	335	516
投資有価証券売却益	0	6
特別損失	16,355	674
新型コロナウイルス関連損失	15,417	-
固定資産売却損	39	109
減損損失	897	565
税金等調整前四半期純利益	80,150	139,335
法人税等	23,732	44,478
四半期純利益	56,417	94,857
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,090	15,554
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,326	79,303

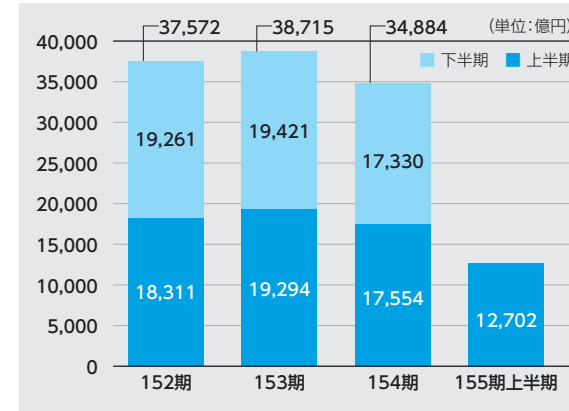
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

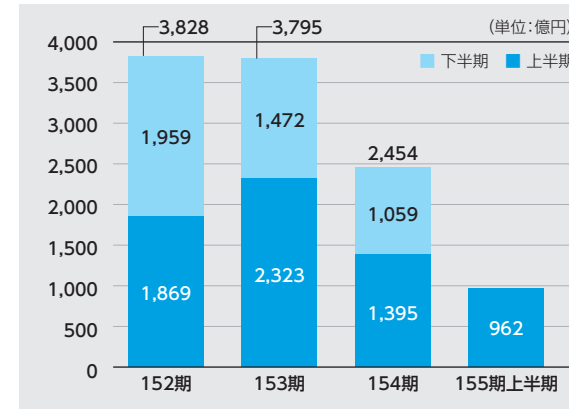
科 目	当第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,353	106,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 84,065	△ 99,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	356,661	△ 41,009
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,905	△ 7,704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	439,855	△ 41,130
現金及び現金同等物の期首残高	420,392	473,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	860,248	431,966

連結業績の推移

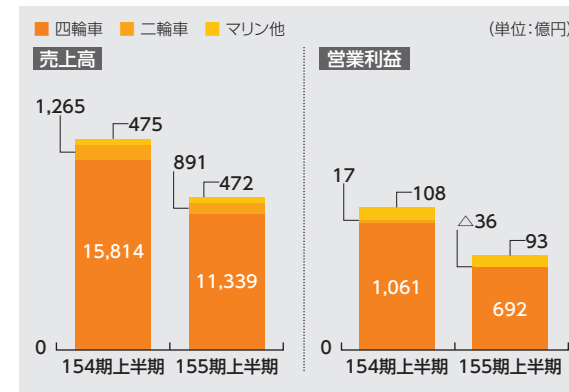
連結売上高の推移



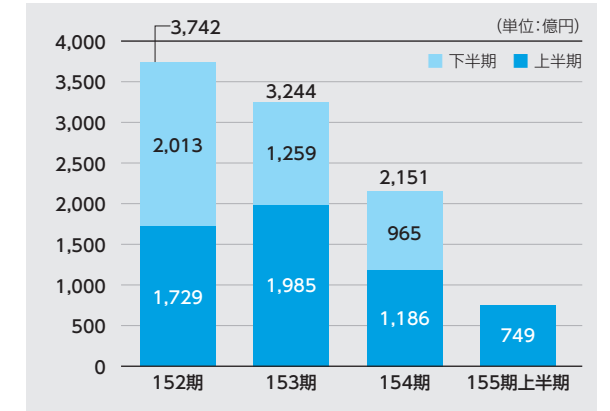
連結経常利益の推移



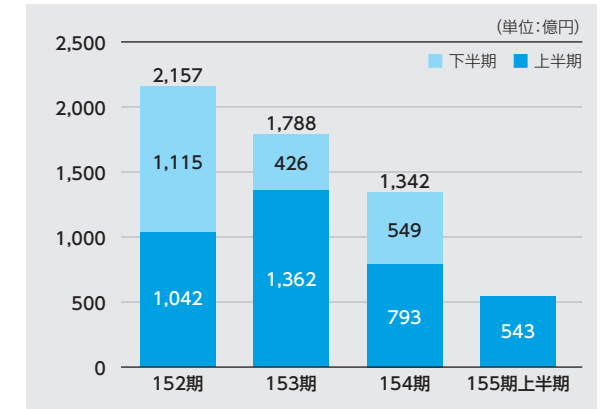
事業別の業績



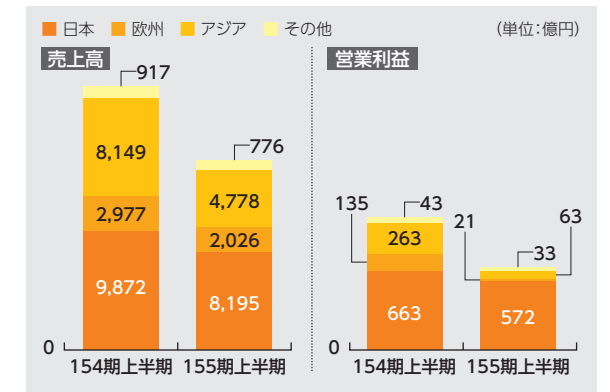
連結営業利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益の推移



所在地別の業績



トピックス

スズキクリーンオーシャンプロジェクトを始動

これまで当社マリン事業本部を中心に継続して取り組んできた水辺の清掃活動が2020年に10周年を迎えたことを機に、「私たちに今できること」「スズキの船外機にできること」は何かを考え、海洋プラスチックごみ問題に焦点を当てた新たな取り組み「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」を始動しました。

このプロジェクトは3つの取り組みを柱とし、従来からの活動をさらに発展させていきます。



プロジェクト1 水辺の清掃活動を継続し、海洋プラスチックごみを回収

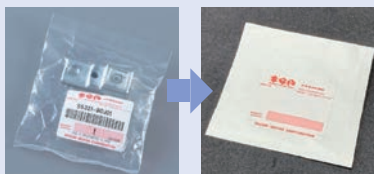
当社グループでは、船外機が使用される海、河川、湖沼で、従業員とその家族によるボランティアの清掃活動を実施してきました。

2010年に浜松市で1回目の活動を開始し、2回目以降は世界各国に活動の輪を広げ、これまで参加国は26か国、参加者は延べ約8,000人以上に及びます。2020年以降も清掃活動を継続していきます。



▲世界各国で活動を実施(2019年撮影)

プロジェクト2 船外機や部品の梱包資材からプラスチックを削減



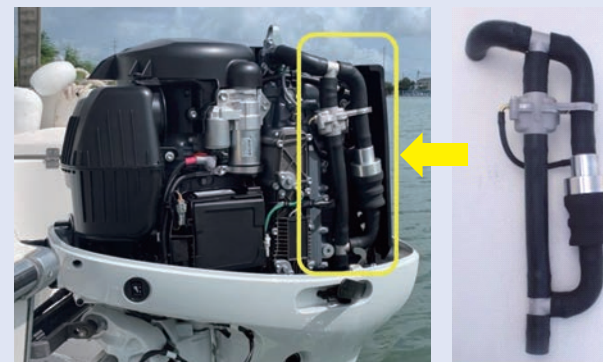
▲梱包資材をプラスチック製から紙製に切り替え

事業活動から生じるプラスチックごみを削減するため、スズキ船外機の製品梱包資材からのプラスチック削減に向けた取り組みを開始しました。2020年6月生産の一部製品の梱包に代替素材を試験的に採用し、市場評価の確認を進めています。

また、スズキ船外機の純正部品の梱包資材についても、プラスチック製の袋やフィルム類の一部を紙製素材に置き換え、2020年10月より出荷を開始しました。これにより年間約2.3トンのプラスチックごみの削減を見込んでいます。



プロジェクト3 船外機用のマイクロプラスチック回収装置を開発(世界初)



▲回収装置を取り付けた船外機(カバーを外した状態)

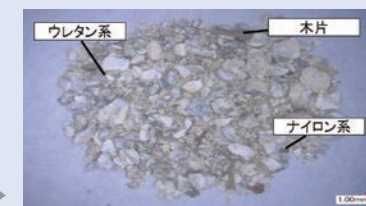
海洋プラスチックごみ問題に取り組むため、当社は船外機に取り付け可能なマイクロプラスチック回収装置を世界で初めて開発しました。

船外機がエンジン冷却のために大量の水をくみ上げながら走行し、冷却後にその水を戻す構造であることに着目し、回収装置は戻り用水ホースに取り付け可能なフィルター式としました。この装置を取り付ければ、走行するだけで水面近くのマイクロプラスチックを回収することができます。

マイクロプラスチック:海などに流れ込んだ海洋プラスチックごみが自然環境下で微細(5mm以下)に破碎されたもの。

国内で実施した回収装置のモニタリング調査では、フィルターに溜まった回収物に含まれるマイクロプラスチックを確認することができました。モニタリング調査は海外にも対象を広げて実施し、さらに改良を重ねていきます。

この装置は2021年からオプション用品として設定し、将来的には標準装備として扱うことも計画しています。



モニタリング調査で実際に回収したマイクロプラスチック▶



「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」の推進は、SDGs(持続可能な開発目標)が示す社会課題の解決に向けた当社の具体的な取り組みであり、スズキ船外機がブランドスローガンに掲げる「THE ULTIMATE OUTBOARD MOTOR(究極の船外機)」を環境面においても追及していく姿勢を表しています。

当社は船外機ユーザーをはじめ、販売店、ボートビルダー、取引先、当社グループ関係会社、従業員やその家族など、世界中の全てのパートナーの皆様と力を合わせて、世界中の海をきれいにしていきます。

2020年4-9月期の主なトピックス

2020年6月

新型船外機「DF140BG」「DF115BG」を発表

主にレジャー用途の中型ボートに搭載される140馬力・115馬力クラスの4ストローク船外機として世界で初めて電子スロットル&シフトシステムを採用しました。



2020年7月

インドで二輪車累計生産500万台を達成

インドの二輪車生産販売子会社スズキ・モーターサイクル・インド社が累計生産500万台を達成しました。



アクセス125(インド製)

2020年8月

後付け急発進等抑制装置を発売

後付けが可能な急発進等抑制装置「ふみまちがい時加速抑制システム」を発売しました。

※2012年9月から2014年7月に販売したワゴンR FX・FXリミテッドに取り付け可能



2020年8月

スズキ教育文化財団、20回目の奨学生を決定

2020年度の奨学生として新たに決定した高校生43名と大学生5名の奨学生認定証授与式を行いました。



株主メモ

定時株主総会	6月中	株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
基準日	定時株主総会	3月31日	同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	期末配当金	3月31日		
公告方法	中間配当金	9月30日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間: 土日休日を除く9:00~17:00)
	その他必要があるときは、あらかじめ公告します。			
証券コード	7269	同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店	

株式に関する各種お手続きについて

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	未払配当金の支払いについて
<p>①証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社にお申出ください。</p> <p>②証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</p>	<p>株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</p>

走り爽快コンパクト

NEW SWIFT **HYBRID**

1.2L/5人乗り

スイフト



危険を予測し
安全運転をサポートする

SUZUKI
Safety Support
スズキの安全安心技術

ますます充実した先進安全装備を搭載